

琉球・沖縄 年中行事 **Q&A**

火之神・御願編



●Answer
 帰依 龍照(きえ りゅうしょう)
 沖縄市・コザ山球陽寺住職

Q 新築して1年になります。旧暦の二日(チータチ)・十五日(ジユグニチ)を習いながら頑張っています。ですが、たまに忘れます。忘れた時はどうしたらいいのでしょうか?

A んー、東京のお母さんは、さぞかし驚かれたことでしょうね。この二区分する中国の旧暦「一日・十五日」の思想は古く、忘れた場合の対処の方法もいろいろあります。

まず、「取り越し御願(ウグワン)」「取り延べ御願」を記憶にとどめてはいかがでしょうか? 取り越し御願とは、「あっ、しまった。忘れたー」と思い出したとき、すぐに焼香する方法です。これは、忘れたら一刻も早く供(ウサゲ)るとい

う考え方を基本とします。取り延べ御願とは、忘れたことを思い出しても、次の旧暦「一日・十五日」を待って焼香する方法です。これは、旧暦の一日・十五日にしか、香分(コーブン)という平線香(ヒラウコー)の受け取りができないという考え方を基本とします。以前、同じ質問を受けたとき、取り延べ御願の方法をアドバイスしたら、「でも、次の旧暦一日・十五日まで時間もあつし、忘れたことを、さらに忘れたらどうしようか?」と言われたことがあります。んー、これはキリがないですから、やはり忘れないことが一番です(笑)。



イラスト: 帰依 ひろ子

Q 先日、主人のお義母さんから、「沖縄の嫁になったのだから、台所に火之神(ヒヌカン)を置きなさいね」とアドバイスをいただきました。しかし、火之神をご案内するには、どこからか灰をもらわなければいけないとか? 主人の実家からという方と、嫁の実家からという方と意見がバラバラです。どこから灰をもらうのが良いのでしょうか? ちなみに、私の実家は東京です。母に、「わが家に火之神ある?」と電話したら、「はいっ?」って言われてしまいました。

(糸満市・Uさん)
 質問には、寺院の住職の立場ではなく、土徳(どとく)という沖縄の慣習に畏敬(いけい)の念を持つ、「琉球・沖縄祖先崇拜評論家」の立場でお答えしたいと思います。まず、沖縄の火之神のことを、他府県の多くの地域では「荒神(こうじん)」さまで言います。沖縄では、各家庭の台所に案内(ウンチケー)しますが、県外では各集落の入り口付近に、石碑として案内するところが多いようです。この荒神さまを輪番制という持ち回りで敬っていくことがありますので、何年かに1度、敬意を担当するかしないかというのが実情でしょう。

県外で火之神は沖縄ほど身近なものではありませんので、実家のお母さんが、「はいっ?」とおっしゃることにもうなずけます。沖縄で火之神を新しく案内するとき、ご質問のように、ご主人か奥さま、いずれかの実家の火之神から灰をいただくのが賢明です。ご主人の実家からとアドバイスくださる方は、沖縄の「血筋(シジ)」という男性方の家系を大切にされる考え方を基本とされています。奥さまの実家からとアドバイスされる方は、女性神(じよせいしん)といわれる火之神は台所の女性の神さまでから、大切にされる考え方を基本とされています。

現状では、ご主人の実家から灰をいただくケースが圧倒的に多いようですが、沖縄の地域性は多岐にわたります。奥さまの実家から灰をいただくケースも少なからず目にします。Uさんは東京出身ということですが、実家に火之神そのものがないかもしれませんので、お義母さんと相談して、実家の灰をいただきます。このとき、灰は3回に分けていただき、ご自分の火之神へも3回に分けて入れる沖縄の慣習があります。ご主人のお義母さんと仲良くするのは家庭円満の秘訣。お義母さんに習いながら、火之神を案内できると素晴らしいですね。



【質問をお寄せください】
 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は22面をご覧ください。

帰依 龍照 1968年岡山県出身(46歳) / 学歴: 岡山大学大学院博士課程単位取得 / 職歴: 寺院一筋 / 専門分野: 哲学(宗教哲学) / 沖縄県内で年間約100件以上の地鎮祭(起工式)を担当する / 著書: 「琉球・沖縄 儀式・法要事典 作法・心得編」県内有名書店にて発売中 / 趣味: 野球、園産グッピー飼育(現在グッピーの赤ちゃんが50匹とワンサカです)